

# CIインサイトレポート － RA 2021 － 【 目次見本 】

2021.11  
株式会社社会情報サービス  
Social Survey Research Information Co., Ltd

## § レポート全体概要

調査対象 疾患	R A（関節リウマチ）	
調査ポイント	Bio （生物学的製剤）	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 既存薬の処方状況（処方割合、患者タイプ<sup>o</sup>等）を薬剤別に分析</li> <li>➤ BS（イナセルプト、アダリムマブ）の処方状況を分析/検証 ⇒ 今後の全体/薬剤別処方動向を予測！</li> </ul>
	JAK	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 既存薬の処方状況（処方割合、患者タイプ<sup>o</sup>等）を薬剤別に分析</li> <li>➤ 近年の処方の変化状況について検証</li> <li>➤ （医師クラス別）現状での問題点について検証 ⇒ 今後の全体/薬剤別処方動向を予測！</li> </ul>
	Topic （特別設問）	<p>BS：イナセルプトBSの安定供給（供給停止）の問題について徹底検証！</p> <p>JAK：FDAのwarning発出の問題について徹底検証！</p> <p>⇒ <u>今後の学会の動向・国内全体の処方動向への影響度について徹底予測！</u></p>
	Bio/JAKの 将来動向	<p><b>Bio vs JAK 競争は更に激化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ <u>今後のBio/JAKの処方動向を徹底予測！</u> ⇒ Bio/JAKのシェア動向の変化は？</li> </ul>

## ■ 調査対象薬剤

既存薬	Bio (生物学的製剤)	TNF	レミケード、インフリキシマブ <sup>BS</sup>
			エンブレル、エタネルセプト <sup>BS</sup>
			ヒュミラ、アダリムマブ <sup>BS</sup>
			シンボニー
			シムジア
		IL-6	アクテムラ
			ケブザラ
		CTLA-4	オレンシア
	JAK阻害薬	JAK1/2/3	ゼルヤンツ
		JAK1/2	オルミエント
		JAK1/2/3/TYK2	スマイラフ
		JAK1	リンヴォック
		JAK1	ジセラカ
新規薬剤 (開発薬)	Bio (生物学的製剤)	TNFaナノボディ	TS-152 オゾラリズマブ
		GM-CSF	GSK3196165 オチリマブ
	経口剤	BTK阻害薬	TAS5315

# § レポートPart別概要

調査種類	Part I データ分析編	Part II 定量調査編	Part III K O Lヒアリング編
調査手法	(オープンソースを基にした) データ分析	インターネットによるWEB調査	デプスインタビュー
調査対象医師/ 対象医師数	—	RA患者を診療している医師 計 205名 <b>(All Bio/JAK User)</b> ＜内訳：内科 90名、整形外科 115名＞	RA TOP KOL 3名 <b>【関連学会 役員】</b> ＜内訳：内科 2名、整形外科 1名＞
調査対象診療科 ＜施設種類＞	—	リウマチ/膠原病内科＜HP/GP＞ 整形外科＜HP/GP＞	リウマチ/膠原病内科＜HP＞ 整形外科＜HP＞
調査内容	<p>＜既存薬＞ プロフィール、作用機序・特性、 薬価、販売高推移、臨床試験、 関連論文</p> <p>＜開発薬＞ プロフィール、作用機序・特性、 臨床試験、関連文献</p> <p>＜その他＞ 注目企業動向、学会情報</p> <p>＜別添＞ 抄録集（関連論文）</p>	<p>＜Bio＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 薬剤別処方状況</li> <li>● 患者タイプ別1st Bio処方状況</li> <li>● BS処方状況</li> <li>● <b>イタルセプトBS安定供給の問題による 今後の処方への影響度</b></li> </ul> <p>＜JAK＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 薬剤別処方状況</li> <li>● 患者タイプ別薬剤処方状況</li> <li>● 薬剤別処方パターン（line）</li> <li>● 近年の処方意向・位置付けの変化</li> <li>● 現状の問題点</li> <li>● <b>FDAの警告発出による 今後の処方への影響度</b></li> </ul> <p>＜Bio/JAK 今後の処方動向＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 临床上に必要な薬剤</li> <li>● 薬剤別処方変化動向</li> </ul> <p>等</p> <p><b>※Topic（特別設問）</b></p>	<p>＜Bio＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 薬剤別処方状況</li> <li>● 患者タイプ別1st Bio処方状況</li> <li>● BSの処方動向＊</li> <li>● <b>イタルセプトBS安定供給の問題による 今後の処方への影響度＊</b></li> </ul> <p>＜JAK＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 近年の処方状況＊</li> <li>● 薬剤別処方状況</li> <li>● 医師クラス別現状の問題点＊</li> <li>● <b>FDAの警告発出による 国内処方動向への影響度＊</b></li> </ul> <p>＜Bio/JAK 今後の処方動向＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 临床上に必要な薬剤＊</li> <li>● 薬剤別処方変化動向＊</li> </ul> <p>等</p> <p><b>※Topic（特別設問）</b> ＊国内全体の実態/将来動向についての 検証/予測を含む</p>
調査実施時期	2021年8月～10月		
体裁／頁数	Part I・・・P P T（or E X C E L）、Part II & III・・・P P T / A 4 計約350ページ（報告書本編のみ、別添は含まない）		
レポート価格	レポート本編 ※オプション	フルセット＜3パート＞ ロウデータ ロウデータ + ターゲットマッチング	180万円（税別） 60万円（税別） 70万円（税別） <b>＊Part別販売 可</b>

# < Part I データ分析編 目 次 >

調査概要	3	IV. 学会情報	63
I. 既存品	4	IV-1-1. 日本リウマチ学会・総会・学術集会	64
I-1. プロファイル	5	IV-1-2. 北海道・東北支部学術集会	81
I-2. 作用機序・特性	14	IV-1-3. 関東支部学術集会	84
I-3. 薬価	25	IV-1-4. 中部支部学術集会	85
I-4. 販売高推移	36	IV-1-5. 近畿支部学術集会	90
I-5. 臨床試験 (UMIN)	38	IV-1-6. 中国・四国支部学術集会	93
I-6. 臨床試験 (JAPIC)	45	IV-1-7. 九州・沖縄支部学術集会	94
II. 開発品	46	IV-2. 日本臨床リウマチ学会	95
II-1. プロファイル	47	IV-3. 日本臨床免疫学会	100
II-2. 作用機序・特性	49	IV-4. 日本免疫学会	102
II-3. 臨床試験 (JAPIC)	51	IV-5. 日本整形外科学会	104
III. 関連企業動向	52	IV-6. 日本小児リウマチ学会	106
		V. 関連文献	109
		V-1-1. 既存品・製品別	110
		V-1-2. 既存品・複数	120
		V-2. 開発品	131

## < Part II 定量調査 要約編 目次 >

調査概要	3
回答者プロフィール	4
§.Executive Summary	5
§.Summary	15
1) 関節リウマチ患者の診療状況	16
2) 生物学的製剤・JAK阻害薬の処方状況	18
3) 生物学的製剤の処方状況・評価	28
4) JAK阻害薬の処方状況・評価	45
5) 今後のJAK阻害薬の処方動向	59
6) 今後の生物学的製剤の処方動向	70
7) 薬剤情報の入手手段として重視するチャネル	81

# < Part II 定量調査 結果編 目次 >

調査概要	3	4) JAK阻害薬の処方状況・評価	59
回答者プロフィール	4	4-1.患者タイプ別薬剤処方状況(処方頻度が高い薬剤)	60
§ 調査結果	5	4-2.薬剤別処方パターン	64
1) 関節リウマチ患者の診療状況	6	4-3.JAK阻害薬からの切り替え状況	70
1-1.診療患者数(直近3ヶ月間)	7	4-4.薬剤評価	76
1-2.薬剤種類別処方状況	8	4-5.近年の処方意向・位置付けの変化	82
2) 生物学的製剤・JAK阻害薬の処方状況	9	4-6.現状での問題点	83
2-1.ガイドライン参考状況	10	5) 今後のJAK阻害薬の処方動向	84
2-2.臨床上での処方薬剤	11	5-1.FDAの警告発出による今後の処方への影響度	85
2-3.薬剤別処方状況	12	5-2.2年後の処方変化動向	87
2-4.直近6ヶ月の処方開始状況	19	5-3.臨床上で必要な薬剤・処方数順位	88
2-5.薬剤別処方段階別処方状況	22	5-4.患者タイプ別薬剤処方動向(処方頻度が高くなる薬剤)	89
2-6.経済的な問題から処方に至っていない患者割合	23	5-5.薬剤別処方パターン変化動向	93
3) 生物学的製剤の処方状況・評価	24	6) 今後の生物学的製剤の処方動向	99
3-1.患者タイプ別1st Bio処方状況	25	6-1.2年後の処方変化動向	100
3-2.薬剤評価	37	6-2.臨床上で必要な薬剤・処方数順位(上位5剤)	101
3-3.BSの処方対象患者	51	6-3.患者タイプ別1st Bio処方動向(処方頻度が高くなる薬剤)	104
3-4.BS非処方医師における今後の処方意向	54	7) 薬剤情報の入手手段として重視するチャネル	116
3-5.エタネルセプトBS供給問題による 今後のBS処方意向への影響度	58		

# < Part Ⅲ K O Lヒアリング編 目次 >

調査概要	3
§ Summary	5
§ 調査結果	20
1. Bio/JAK処方状況	21
2. Bio処方状況	
2-1. 薬剤別処方状況	23
2-2. 患者タイプ別1st Bio処方状況	27
2-3. BS処方動向	29
3. JAK処方状況	
3-1. 近年の処方状況	35
3-2. 薬剤別処方状況・評価	37
3-3. 医師クラス別現状の問題点	41
4. 新規薬剤(開発薬)の評価	43
5. JAK将来動向予測	
5-1. warning発出による国内動向予測	45
5-2. 全体・薬剤別処方動向	49
6. Bio将来動向予測	52